

いしや先生

町おこし映画顛末記

▶22

あべ美佳

2014年もあつという間、年末。皆さん、雪、大と誰かに呼ばれた。「はー丈夫だがつす?」西川町大井沢の診療所セットが2月私。すると、怖い顔をしたの冬ロケまで持つかどうか毎日心配している。おかげさまで今年は本当に良い年だった。

へき地医療に尽力した女医・志田周子の生涯を描いた映画「いしや先生」。先月、足かけ4年ようやくクランクインを果たせたことを報告した。うれしくてうれしくて、撮影現場でうるうるきたんだよ、と。

怒られながら一歩ずつ

皆で一つずつ、少しずつ修正していき、なんとか乗り切った第1次ロケ。おかげさまで良いあੰばいの映像が撮れました! お世話になった県民の皆さま、助けてくれた縁者の皆さま、本当にありがとうございました。

「……周子せんせ、きつとどこがで見えますよね?」ほら、すごい。あなたの役をあんなにキレイな女優さんが演じてくれるんですよ。わが故郷に、若いスタッフがこんなにたくさん集まってくれました。もうすぐ、あなたの生涯が銀幕によみがえりますからね」

「……すみません」と謝りつつ、へえ、そうなんだ。私も知らなかった、そう言えばスタッフは皆、真つ黒だなと初めて気がつく。



意味なんだね、誰も差し入れ持ってきて?」「それは叱てくれね、ヤギがうんこする」という意味だ、エキストラの子供が泣く、伝わらなのでスケジュールめちゃくいよ」「すみません……」。現場は生き物で降ってきた(まだ10月なの!)、隣の家の父ちゃん、状況に合わせ、とあらゆる困難が雪崩のようになんとか乗り越えられた。おかげさまで、最初の2日、ちょっぴりと痩せて、後半どろどろが太ってしまいました。

さあ困ったぞ。私は黒い服なんか一枚も持っていない。トランクを開けたら、赤黄色、オレンジ、緑、暗い色は、茶色のベストのみ。撮影中は買物にも行けないので「今日も一段とキレイな色だねえ」と言われながら、背中を丸めて過ごした。(ごめんしてけろっす) それからも、次から次に、まあ怒られること。おい、方言指導!」「はいっ!」「このセリフ、標準語でどんな

皆で一緒にがんばるべ! (作家・脚本家、尾花沢市出身) 11月1回掲載します